

1 入場について

原則、無観客開催とする。

ただし、記録写真等の必要性から、一校につき、教員・学校関係者1名、保護者1名の入場を許可する。

体育館への入室時に、手指の消毒、体温の計測を行い、学校同行者体調記録表（別紙2）を提出する。

体育館への入室時には、毎回、学校同行者体調記録表（別紙2）を提出する。

体育館内では原則、マスクを着用し、会場で会話をする際には、対面を避け、距離をとる。

【個人戦（2日目）について】

入場できる選手は団体メンバーまでとする。個人戦（シングルス）のみ出場選手の練習相手は同県の出場選手とする。（申込書に氏名がない方の入場は認めない。）

2 会場について

観客席、フロアでの動線を一方通行にする。（別紙資料を参照）

走路での運動は禁止する。

フロアへの入退場の際には手指消毒を必ず行う。

観客席の「×」がついている座席には座らない。

会場内は、換気を適宜行う。（目安として、回戦が終了時など行いやすいときに行う。）

窓は、試合に支障のない程度開ける。但し、カーテンが風でなびかない程度とする。

洗面所などでも唾や痰をはくことは極力行わずティッシュペーパーなどに包んでビニール袋などに入れ持ち帰る。

ゴミは、会場に置いていくことなく、持ち帰る。

3 選手について

練習は、決められた時間・コートで行う。

試合以外でも、移動や待機しているときも周囲の人となるべく距離をとる。（最低でも1mの間隔を空けることが望ましい。）

運動時以外は、マスク着用を厳守する。（熱中症にも注意する。）

シャトルの受け渡しの際にラケットを使用し、極力手で触れないようにする。

汗は床などに落とさずタオルを使用し拭きとる。（床の汗は、モップ等で拭きとる。自身のタオルを使用して拭かない。）

4 監督・コーチについて

ゲーム間のアドバイスは、選手との距離をしっかりと保つことを原則とする。
チェンジエンス時等でコーチングシートから移動する際には、設置する除菌シート等で椅子を消毒してから移動すること。

5 応援について

飛沫拡散防止のため、声援は認めない。拍手を主として行う。
移動しての応援は認めない。

6 試合について

開閉会式は実施しない。円陣やハイタッチも禁止する。
招集時には、試合に参加する監督・コーチ、選手は選手待機場場に集合する。

【団体戦】

選手待機場場において、対戦チーム同士で挨拶をする。第1ダブルスのみフロアに下り、その他の選手は観客席の自分たちの座席へ戻って準備をする。前の試合が終わる直前にコートサイドに自分たちで入場し、待機する。団体戦の選手用ベンチは設けない。

【個人戦】

選手待機場場に招集し、入場する。

試合開始時、及び終了時の握手はしない。

ゲーム間の移動は、選手が重ならないように、反時計回りで移動する。

7 使用するものについて

主審・線審の椅子、ポール、ネット、得点版は、逐次、消毒を行う。

トイレや更衣室については、密にならないように放送によるアナウンスで呼びかけを行う。

参考資料：新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン第2版
(公益財団法人 日本バドミントン協会)